

事務事業名	図書館運営事業	整理番号	11504-000
所 管	図書館 学習情報スタッフ		

**事務事業の位置付け**

期間	昭和45年度 ~ 平成年度	根拠法令・要綱等	図書館法 公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準
基本計画における位置付け	基本政策 1-1 心豊かな人づくり	関連政策	1-1-1 乳幼児期の教育の充実 1-1-2 少年期の教育の充実(小中学校)

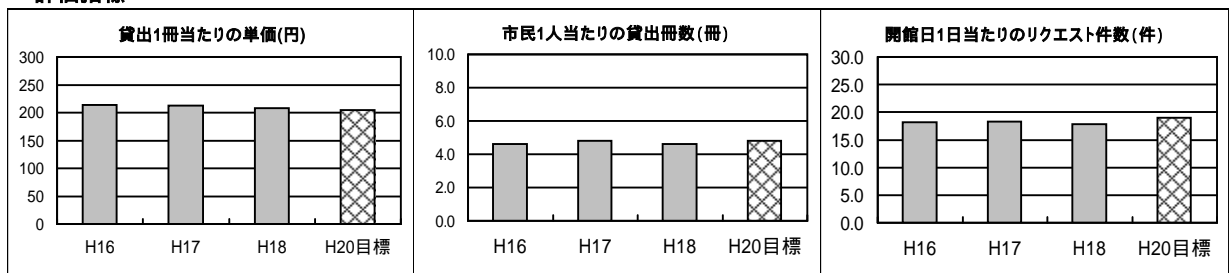
**事務事業の内容**

目的 (何のために)	生涯学習施設として、資料や情報の提供を通して市民の教養や調査研究及び文化活動の充実を図る。
対象 (誰・何を)	市民及び周辺自治体住民。
手段 (どのようなやり方で)	開館時間：9時30分から18時。休館日：月曜日祝日ほか。主要施策：図書や雑誌、視聴覚資料等の収集と提供。資料相談業務。親子おはなし会等の講座、教室の開催。視覚障害者用録音図書の作成と提供。
成果 (どのような状態にしたいか)	図書館資料の充実により市民の多種多様な資料や情報に対するニーズに応える。また、子どもの知識や情操を豊かにし読書習慣を培う。各種講座、教室等の開催により市民の教養を高める。
事務事業の背景・住民の意向	生涯学習の定着、少子高齢化や経済不況等を反映した自己決定型社会の到来などにより、多種多様な学習資料や情報を求める人が増えている。
見直し改善の経過	リクエスト制度やブックスタート事業等で市民ニーズを掘り起こし、利用を高める運営をしてきた。また、子どもの読書離れに対処する施策を推進するため、御殿場市子ども読書活動推進計画を策定した。

**事務事業の実績・投入コスト**

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)
平成16年度	開館日数276日、蔵書冊数232,594冊、利用者数79,176人、貸出冊数400,639冊、リクエスト件数5,018件、開催講座7回参加者数416人	<p>投入コスト(千円)</p> <p>■直接経費(上段) □人件費(下段)</p>
平成17年度	開館日数277日、蔵書冊数238,864冊、利用者数80,834人、貸出冊数406,298冊、リクエスト件数5,074件、開催講座7回参加者数960人	
平成18年度	開館日数277日、蔵書冊数243,481冊、利用者数78,954人、貸出冊数405,922冊、リクエスト件数4,930件、開催講座7回参加者数313人	

**評価指標**



**事務事業の評価**

観点別・一次評価(担当部署の評価)	コメント	
観点別評価	必要性	世代間の利用格差が大きくなっている。利用の少ない世代にも魅力のある蔵書構成をする必要がある。インターネットなど社会情勢に即した図書館システムを導入し、サービス向上やPRを積極的に進め、利用者の増加を図っていく。
	有効性	
	効率性	
一次評価	C	今後の方向性 手段改善
二次評価(行政評価委員会の評価)	コメント	
二次評価	B	市図書館としての管理運営方法を検討する時期が到来している。今後の方策を検討されたい。
		今後の方向性 手段改善

**改革プラン**

平成19年度からの対応	窓口での資料相談やフロアでの書架案内等で出来るかぎり市民ニーズを把握し、購入図書の選定やリクエスト等に反映させる。青少年向けの蔵書を充実させる。
平成20年度以降の対応	インターネットを介して図書館運営あるいは資料等についての市民ニーズを把握し、世代間の利用格差の減少に努める。併せて利用の拡大を図る。
改革により予想される成果	図書館利用の増加及び市民ニーズを的確に反映した図書館運営の実現。